

## 降臨節第1主日（聖書協会共同訳）

全能の神よ、み子イエス・キリストはわたしたちを顧み、謙遜なみ姿でこの世に来られました。どうかいま、闇の業を捨てて、光のよろいを着る恵みを与え、終わりの日に生きている人と死んだ人を審くために栄光をもって再び来られるとき、永遠の命によみがえらせてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

### 旧約聖書 イザヤ書63章19b－64章8節b

63:19b あなたが天を裂いて降りて来てくださったなら、山々は御前に揺れ動くでしょうに。

64:1 火が柴を燃やし、湯を沸かすように、あなたの名は敵対する者たちに示され、国々は御前に震えるでしょう。2 想像を越えた恐るべきことをなされたとき、あなたは降りて来られ、山々は御前に揺れ動きました。3 神を待ち望む者のために事をなして下さる方は、あなたのほかにありません。昔から聞いたことも耳にしたことも、目を見たこともありません。4 あなたは迎えてくださいます、喜んで正義を行う者を、あなたの道を進みながら、あなたを思い起こす人々を。しかし、あなたは怒られました。私たちは罪を犯し、久しくその罪の中にいます。私たちは救われるのでしょうか。

5 私たちは皆、汚れた者のようになり、私たちの正義もすべて、汚れた衣のようになりました。私たちは皆、木の葉のように枯れ、私たちの過ちが風のように、私たちを運び去りました。6 あなたの名を呼ぶ者も、奮い立ってあなたにすぎる者もおりません。あなたは私たちから御顔を隠し、私たちを罪の力に渡されました。7 しかし主よ、今、あなたは私たちの父。私たちは粘土、あなたは陶工。私たちは皆、あなたの手の業です。イザ 64:8 どうか主よ、激しくお怒りにならないでください。いつまでも過ちを覚えていないでください。

### 詩編 第80編1－7

- 1 イスラエルの牧者よ、ヨセフを羊の群れのように導く方よ、耳を傾けてください // ケルビムの上に座しておられる方よ、光を放ってください
- 2 エフライム、ベニヤミン、マナセの前に力を現し // わたしたちを救うために来てください
- 3 神よ、わたしたちを新たにし // み顔の光を照らし、救ってください
- 4 万軍の神、主よ // 民の祈りに向かっていつまで怒りを燃やされるのか
- 5 あなたは涙のパンをわたしたちに食べさせ // 溢れる涙を飲み物とされた
- 6 わたしたちは隣り人の争いの種にされ // 敵はわたしたちをあざ笑う

7 万軍の神よ、わたしたちを新たにし// み顔の光を照らし、救ってください

### 使徒書 コリントの信徒への手紙一 1章1-9節

1:1 神の御心によってキリスト・イエスの使徒として召されたパウロと、兄弟ソステネから、2 コリントにある神の教会と、キリスト・イエスにあつて聖なる者とされた人々、召された聖なる者たち、ならびに至るところで私たちの主イエス・キリストの名を呼び求めるすべての人々へ。イエス・キリストは、この人たちと私たちの主です。3 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平和があなたがたにありますように。4 私は、あなたがたがキリスト・イエスにあつて与えられた神の恵みのゆえに、いつも私の神に感謝しています。5 あなたがたはキリストにあつて、言葉といい、知識といい、すべての点で豊かにされたからです。6 こうして、キリストについての証しがあなたがたの間で確かなものとなったので、7 その結果、あなたがたはどんな賜物にも欠けるところがなく、私たちの主イエス・キリストが現れるのを待ち望んでいます。8 主も、あなたがたを最後までしっかり支えて、私たちの主イエス・キリストの日に、非の打ちどころのない者にしてくださいます。9 神は真実な方です。この方によって、あなたがたは神の子、私たちの主イエス・キリストとの交わりに招き入れられたのです。

### 福音書 マルコによる福音書 13章(24-32) 33-37節

(13:24 「それらの日には、このような苦難の後、太陽は暗くなり、月は光を放たず  
マル 13:25 星は天から落ち、天の諸力は揺り動かされる。26 その時、人の子が大いなる力と栄光を帯びて雲に乗って来るのを、人々は見ると。27 その時、人の子は天使たちを遣わし、地の果てから天の果てまで、選ばれた者を四方から呼び集める。

28 「いちじくの木から、たとえを学びなさい。枝が柔らかくなり、葉が出て来ると、夏の近いことが分かる。29 それと同じように、これらのことが起こるのを見たら、人の子が戸口に近づいていると悟りなさい。30 よく言っておく。これらのことがみな起こるまでは、この時代は決して滅びない。31 天地は滅びるが、私の言葉は決して滅びない。32 その日、その時は、誰も知らない。天使たちも子も知らない。父だけがご存じである。」)

33 「気をつけて、目を覚ましていなさい。その時がいつであるか、あなたがたは知らないからである。34 それはちょうど、家を後に旅に出る人が、僕たちに責任を与えてそれぞれに仕事を託し、門番には目を覚ましているようにと、言いつけるようなものである。35 だから、目を覚ましていなさい。いつ家の主人が帰って来るのか、夕方か、夜中か、鶏の鳴く頃か、明け方か、あなたがたには分からないからである。36 主人が突然帰って来て、あなたがたが眠っているのを見つけるかもしれない。37 あなたがたに言うことは、すべての人に言うのだ。目を覚ましていなさい。」